

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 熊谷市立佐谷田小学校 (※正式名称を記載)

種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>

中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校

教員養成大学  専修学校、各種学校

特別支援学校

その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒360-0023

埼玉県熊谷市佐谷田1030

E-mail [say001@sayada-e.ed.jp](mailto:say001@sayada-e.ed.jp)

Website <http://www.sayada-e.ed.jp/>

幼児児童生徒数 男子180名 女子147名 合計327名

幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項1-1、2-1に対応

### 1 活動の概要

#### (1) はじめに

本校は熊谷市東部に位置し、田園が学校の周囲を取り巻く中、食品工場や新しい住宅が学校周辺には増えてきている。学校敷地内には「埼玉県の魚ムサシトミヨ」の繁殖活動を行うための「トミヨ池」があり、トミヨ池に注ぐ地下水が、「佐谷田川」へと流れ、植え込みの「佐谷田森」に沿って一年中流れている。休み時間には児童が遊ぶことができ、自然体験のできる良い遊び場となっている。このような自然に恵まれた環境のもとで、本校はESD（持続可能な開発のための教育）の視点に立った「ムサシトミヨの繁殖活動」を通して、「身近な環境問題に気づき、環境を守ろうとする心と態度の育成」を目標として活動している。

#### (2) ムサシトミヨの保護・繁殖活動

現在ムサシトミヨは絶滅の危機にあり、環境省のレッドリストでは絶滅危惧IA類に指定されている。昭和62年11月から、本校では環境保護の大切さを受け継ぎ、ムサシトミヨ繁殖委員会を中心に繁殖活動を行っている。

本校には、ムサシトミヨの保護・繁殖活動を啓発するための「ぼくらにできること」（作詞・作曲 中村朋子校長）という本校オリジナルの歌曲があり、音楽の時間や朝の会などで歌い継いでいる。平成27年度には、さらに児童達がムサシトミヨに愛着がもてるよう、本校独自のマスコットキャラクターも作成した。

平成29年度の繁殖調査は、11月16日に行われた。30年目を迎える今年度の調査結果は、繁殖数102匹で、昭和62年度からの累計では7765匹となった。

平成27年11月には、本校の活動成果を環境省主催の「第10回全国野生生物保護実績発表大会」において発表する機会を得て、「環境省自然環境局長賞」を受賞することができた。

さらに、平成28年7月には秋田県美郷町で開催された「湧水保全フォーラム全国大会 in みさと」に参加し、本校の活動内容をポスターセッションで紹介することができた。



【図1 トミヨ池全景】



【図2 元気に泳ぐムサシトミヨ】



【図3 繁殖調査の様子】



【図4 本校オリジナルのキャラクター】



【図5 全国野生生物保護実績発表大会】



【図6 湧水保全フォーラム全国大会】

## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(委員会活動 )	

#### エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

(1) 県の魚ムサシトミヨ <a href="http://www.pref.saitama.lg.jp/a0508/sub-tayouseihozen/musasitomiyo-top.html">http://www.pref.saitama.lg.jp/a0508/sub-tayouseihozen/musasitomiyo-top.html</a>
(2) 熊谷市 ムサシトミヨについて <a href="http://www.city.kumagaya.lg.jp/kurashi/shimin/shizen/musasitomiyo.html">http://www.city.kumagaya.lg.jp/kurashi/shimin/shizen/musasitomiyo.html</a>
(3) 熊谷市ムサシトミヨをまもる会 <a href="http://kumakanren09.net/musasitomiyo.html">http://kumakanren09.net/musasitomiyo.html</a>
(4) 熊谷デジタルミュージアム <a href="http://www.kumagaya-bunkazai.jp/museum/jousetu/tomiyo/index.htm">http://www.kumagaya-bunkazai.jp/museum/jousetu/tomiyo/index.htm</a>

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度） ※チェック事項1-2, 1-3に対応

本校では、4年生の「総合的な学習の時間」において、『ぼく・わたしのできること』という単元を設定して、ESDの視点に立った学習指導を行っている。具体的には、佐谷田地区の自然環境を守るために、自分達ができることを考え、課題設定し、実践するといった、主体的な学習活動に取り組んでいる。

特に環境保護の意識を高めるため、近隣のムサシトミヨ保護センターを訪問し、熊谷市環境政策課の方や「熊谷市ムサシトミヨをまもる会」の方からの講義を聞き、ムサシトミヨの繁殖活動に関する学習をしている。

このように、4年生の「総合的な学習の時間」での学習や、5・6年生のムサシトミヨ繁殖委員会の活動などを通して、本校児童の「身近な環境問題に気づき、環境を守ろうとする心と態度の育成」に取り組んでいる。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項1-4に対応

現在ムサシトミヨは絶滅の危機にあり、環境省のレッドリストでは絶滅危惧IA類に指定されている。本校では、昭和62年11月から環境保護の大切さを受け継ぎ、ムサシトミヨ繁殖委員会を中心に繁殖活動を行っている。毎年行っているムサシトミヨの繁殖調査は、今年度30年目を迎えた。

委員会活動として活動内容を児童集会で発表したり、繁殖報告会で外部の方に報告したりする場を定期的に設けることで、組織的かつ継続的な活動ができる体制を取っている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項1-5に対応

繁殖報告会において、外部指導者から指導講評を受け、参会者と質疑応答することで、本活動に対する評価を得るようにしている。

主な成果としては、繁殖報告会において、熊谷市内はもとより県内外から参加された多くの方々に対して、元荒川だけに現在生息するムサシトミヨの生態や本校で取り組んでいる繁殖活動の様子について幅広く報告できたことが挙げられる。また、本活動に携わった児童が中学校に進学後も引き続き、中学校で繁殖活動に取り組んでいる姿もみられ、伝統を受け継ぐという点で本校児童に良い影響を与えている。

課題は、児童に主体的な活動をいかに促していくかという点である。ESDの視点に立った主体的な活動を目指しているが、児童が課題設定や活動計画を立てる際には、実態に応じた個別支援が必要であり、その点が本校の課題となっている。加えて、本活動に具体的に携わっている児童と、関わりが少ない児童との間で活動の質的な差が大きいため、今後も全校で本活動への理解をさらに深め、共有していくための手立てを考えていくことが必要である。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

ムサシトミヨの繁殖活動を通して、自他の命はかけがえのないものであり、互いに守り合う大切な存在であることを本校児童に実感させることができた。また、このムサシトミヨが生息する自然環境をどのように次世代へ引き継いで保全するかについて考える機会ができた。この活動により、希少動物や環境保護に対する本校児童の問題意識も高まり、6月に実施した埼玉中央漁業協同組合主催の荒川河川敷清掃では、参加する本校の保護者や児童も増え、今年度の参加者は、215名に上った。

ESD 活動成果の発信の場として、平成27年11月には本校の活動成果を環境省主催の「第10回全国野生生物保護実績発表大会」において発表する機会を得て、「環境省自然環境局長賞」を受賞することができた。

さらに、平成28年7月には秋田県美郷町で開催された「湧水保全フォーラム全国大会 in みさと」に参加し、ポスターセッション形式で本校の活動内容を広く発信することができた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

ムサシトミヨ繁殖調査に際して、以下の団体と協働し、繁殖方法や調査方法に関する指導を受けた。

- ・熊谷市ムサシトミヨをまもる会
- ・埼玉県環境科学国際センター
- ・埼玉県環境部みどり自然課
- ・県営さいたま水族館
- ・熊谷市環境政策課

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

※チェック事項 2-4 に対応

本校と同様にムサシトミヨの繁殖調査を行っている近隣のユネスコスクール(熊谷市立久下小学校)と、繁殖調査報告会でお互いの活動を報告するなどして、交流を図っている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

本校児童にとって、ムサシトミヨは学校のシンボルであり、大切に育てている身近な存在である。本校のユネスコスクールの活動に関連して、2013年には、熊谷市ムサシトミヨをまもる会の「世界で一つだけの『元荒川ムサシトミヨ生息地』保護活動」が日本ユネスコ協会連盟の「ユネスコ・プロジェクト未来遺産運動」に登録された。このことにより、さらに環境問題に対する児童の意識が高まり、ムサシトミヨへの愛着や誇りが深まるとともに、学校・地域・保護者が一体となって、ムサシトミヨを守り育み、この保護活動を次の世代へと継続させていくといった積極的な取り組みとして効果が現れている。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

- 4月 ムサシトミヨ繁殖委員会の組織作り。  
以降、委員会が中心となり、毎朝トミヨ池の環境測定、およびトミヨ池の清掃を実施。
- 6月 4年生「総合的な学習の時間」にてムサシトミヨ保護センターを訪問し、ムサシトミヨの生態について学習。
- 11月 ムサシトミヨ繁殖調査。元荒川への放流。
- 2月 ムサシトミヨ繁殖調査報告会での報告。